

会津北嶺高校に 2面の ゲートボール場が完成

全会津で唯一のキリスト教主義の会津北嶺高校では、この度、西七日町校舎（自動車実習棟）内に新しく、2面のゲートボール場が完成しました。2017年に当時2年生だった加藤飛我君達の働きかけで創設されたゲートボール部は、全国ジュニア大会に1〜2年生のメンバーで初出場しました。5人全員が高校生になって競技を始めた



初心者でしたが、週2〜3回会津若松市のあいづドーム等で練習を積み、2019年8月の第24回全国ジュニアゲートボール大会で4位入賞しました。生徒さんに聞くと「ゲートボールは戦術が左右する頭脳戦な所が面白い」との事でした。

ゲートボール場の設置作業については、福島県ゲートボール協会の事務局長、平野幸市氏、同協会副理事長の加藤正子



さんから5名にご協力頂き、会津北嶺の生徒、顧問の先生達と共に行いました。また同協会からは、ゲートボール機材の寄付も頂きました。多大なるご支援、心より御礼申し上げます」と。

「コロナ禍の影響で昨年度から大会は開催されていませんが、新しいゲートボール場での練習の成果が発揮される日を楽しみにしています」と石山校長。